

データヘルス計画に係る課題・目的・目標

☆現状分析の結果、目的と照らし合わせたときのギャップが健康課題です。住民目線で住民が理解でき、何を目指していくのか考えられるよう住民を主語にした表現が望ましいです。

* 事業課題はサブで健康課題がメインとなります。健診受診率が低いなどは事業課題となります。

目的

働き盛りの年代で脳卒中や心臓病などの重症な病気にならず、生涯元気に働き続けられる

※数年後に実現しているべき「改善された状態」

※定性で表現

※目的を達成するための条件

※定量で表現

短期目標をどんな事業でどのように評価するのか確認してステップ2につなげる

課題	目標			評価指標	保健事業
<p>I 食事や間食で食べすぎが多く、肥満となっている。</p> <p>II 味つけの濃い食べ物を好み、壮年期から血圧の上昇につながっている。</p> <p>III 若いうちから喫煙習慣があり、脳血管疾患・虚血性心疾患のリスクになっている。</p> <p>IV 若いうちからの血圧、喫煙、飲酒、肥満が高血圧の引き金となり、その後、脳血管疾患、虚血性心疾患の発症因子となっている。</p>	<p>【長期目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳血管疾患(脳卒中)の新規患者数の減少 ○虚血性心疾患(心臓病)の新規患者数の減少 ○糖尿病による合併症の新規発症者の減少 	<p>【中期目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○40～50代の肥満者の減少 【評価指標】 ・40.50代のBMI有所見者の減少 ・40.50代の腹囲該当者の減少 ○血圧のコントロール良好者を増やす 例えば特定健診のⅡ度以上の高血圧者を減らす等 【評価指標】 ・Ⅱ度高血圧者の減少 ○血糖のコントロール良好者を増やす 【評価指標】 ・40.50代の5.6～6.4該当者の減少 ○子育て世代の喫煙率の減少 【評価指標】 4か月児健診時の保護者の喫煙率の減少 	<p>【短期目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①食事の改善(食事量・内容・取り方)に取り組む人が増える ②体重を測っている人が増える ③運動する人が増える ④間食の習慣がある人が減る ⑤減塩が必要と思っている人が増える ⑥家庭で血圧を測る人が増える ⑦禁煙に取り組もうとする人が増える ⑧自分の身体の状態や経年変化を知っている人が増える 	<p>【短期目標の評価指標】</p> <p>①の指標 【特定健診質問票】 ・就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある人の減少 ・朝食を抜くことが週3回以上ある人の減少 【特定保健指導評価】 ・特定保健指導最終評価時の生活習慣の改善(栄養・食生活)の変化なし、改善、悪化の割合 【栄養指導でのアンケートの実施(R3～新)】 ・自分の体格にあった食事量を意識している人の増加</p> <p>②の指標 【市民アンケート】 ・適正体重を維持している市民の増加 【特定保健指導評価】 ・特定保健指導最終評価時の体重が減少した人の割合 【保健事業でのアンケートの実施(R3～新)】 ・体重を週1回測定している市民の増加</p> <p>③の指標 【特定健診質問票】 ・1日30分以上週2回、1年以上の増加 【市民アンケート】 ・週2回心地よくからだを動かしている市民の増加 【特定保健指導】 ・特定保健指導最終評価時の生活習慣の改善(身体活動)の変化なし、改善、悪化の割合</p> <p>④の指標 【特定健診質問票】 3食以外の間食や甘い飲み物の摂取がある人の減少</p> <p>⑤の指標 【栄養指導でのアンケートの実施(R3～新)】 ・減塩に取り組もうとする(取り組んでいる)人が増える</p> <p>⑥の指標 【特定保健指導評価(R3～新)】 ・家庭血圧測定者の増加 【保健事業でのアンケートの実施(R3～新)】 ・血圧の自己測定をしている壮年期(40・50代)の増加</p> <p>⑦の指標 【事業所、市民アンケートの実施】 ・受動喫煙の影響を受ける市民の減少 【特定健診評価】 ・特定保健指導最終評価時の生活習慣の改善(喫煙)の禁煙継続、非継続、非喫煙、禁煙の意思なしの割合</p> <p>⑧の指標 ・特定健診受診者数の増加、受診率向上 ・特定健診継続受診割合の増加 ・壮年期(40.50代)の受診割合の増加(特定健診受託機関の増加)</p>	<p>【短期目標の指標を達成する事業や指標にあげたものを測定できる事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 特定健康診査 (2) 栄養指導 ※R3～新 特定保健指導対象者へのアンケートと栄養指導の実施 (3) 健診当日保健指導&結果相談会 (4) 特定保健指導 (5) 糖尿病性腎症重症化予防事業 (6) 健康教育(広報、HP、リモート等を活用してアプローチ) (7) 健康づくり組織活動推進事業 ○保健推進員 ・各地区健康相談の企画 ・健診受診勧奨 ○食生活改善推進員 ・減塩料理、乳和食の推進 ・肥満改善レシピの開発 ○運動推進員 ・び～助健康体操の開催 ・家庭でできる運動の発信など